

夏から秋へ 虫たちの話

蝉しぐれの中にひぐらしや、つくつく法師の鳴き声が際立つようになり、草むらからも虫の声が聞こえ始めると、秋はすぐそこに来ています。

最近では苦手な方も多くなってきていますが、日本では昔から虫たちを身近に置き、感じながら生活してきました。

虫の声を聴きながら、虫を愛する人たちの話や虫を愛する人たちが書いた本を読んでみるのはいかがでしょうか？

『バッタを倒しにアフリカへ』 前野ウルド浩太郎／著 光文社

『鳴く虫セレクションー音に聴く虫の世界ー』 大阪市立自然史博物館／編著

東海大学出版会

『ぼくらの昆虫採集』 養老猛司／監修 奥本大三郎／監修 池田清彦／監修 デコ

『虫めづる姫君ー堤中納言物語ー』 蜂飼耳／訳 光文社

『どくとるマンボウ昆虫記 改版』 北杜夫／著 新潮社

きょうか しょ ぼん よ 教科書本を読もう！

『鹿よ おれの兄弟よ』

かんざわとしこ

神 沢 利 子 ／ 作 G. D. パヴリーシ ン ／ 絵

ねんせい こくご けいさい
—5年生 国語 掲載—

ほっかいどう からふと ようしょうき す かんざわとしこ うた ふんしょう が
北海道、樺太で幼少期を過ごした神沢利子の歌うような文章とロシアの画家

G. D. パヴリーシンのさいみつ え えが ちからづよ せいめいさんか
の細密な絵が描く力強い生命賛歌です。

しか か りょうし ものがだり
鹿を狩るシベリアの猟師の物語「おれの きる ふくは 鹿皮 おれの はく
くつも しかがわ
くつも 鹿皮だ」「おれは しか にくを くう / それは おれの ち おれの にくとなる
/ だから おれ しか はし はなし しぜん きび か あいて たい けいせい
俺は 鹿だ」と始まるお話は、自然の厳しさと、狩る相手に対する敬意
にあふれ、おとな かんが
大人も考えさせられるものだと思います。

おやこ よ たが かんじ たか話 してみるのも面白いかもしれません。

指定管理者：(株) 図書館流通センター

目白図書館 月刊情報誌

9
2017

W E
hite ye
[ウィー]



9月

10月

日	月	火	水	木	金	土
			☺ ☀		1	2
3	4	5	6 ☀	7	8	9
10	11	12	13 ☀	14	15	16
17	18	19	20 ☀	21	22	23
24	25	26	27 ☀	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 ☺ ☀	5	6	7
8	9	10	11 ☀	12	13	14
15	16	17	18 ☀	19	20	21
22	23	24	25 ☀	26 🎵	27	28 🎵
29 🎵	30	31				

- ☀ マークのついている日はあいうえおはなしかいです。(15時からB1 集会室にて)
- ☺ マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(14時からB1 集会室にて)
- 🎵 マークのついている日はスペシャルイベントがあります。

豊島区立目白図書館

〒171-0031 豊島区目白4-31-8

☎03-3950-7121

●開館時間●

平日 9:00~20:00

土・日・祝日 9:00~18:00

●休館日●(第1月曜日・第4金曜日)

【9月】 4日(月) 22日(金)

【10月】 2日(月) 27日(金)

9月のイベント：

こどもボイス おはなしをあげよう

みんながよんだおはなしを、ろくおんします。
おじいちゃんやおばあちゃん、かぞくにプレゼントしよう！

【さんかのしかた】

●本をよむれんしゅう・ろくおんをする日時・場所



2017年9月9日(土)13時 ~

9月10日(日)16時

それぞれの日で希望する時間(30分)

場所：ほしよ 目白図書館 めじろ ちか 地下区民集会

●CDをおわたしする日

2017年9月13日(水) ~ めじろとしよかんちか 目白図書館地下1階事務室

●よみたい本

当日は下の3しゆるいの本をよよいしています。よみたい本をえらんでください。

- ①『おおきなかぶ』(トルストイ再話 福音館書店)
- ②『じゅげむ』(川端誠 * 作 クレヨンハウス)
- ③『ろくべえ まってろよ』(灰谷健次郎 * 作 文研出版)

* ほかによみたい本があれば、当日お持ちください。



10月、ぬいぐるみおとまり会！

10月26日(木)~28日(土)

みんなの大切なぬいぐるみが、図書館におとまりします。

夜の図書館で、ぬいぐるみは何をしているのかな？

●10月11日(水)、申し込み開始。くわしくは目白図書館まで。



【今月の特集展示】

一般コーナー 「おいしい本棚」

言葉で感じる“おいしい”を集めました。どうぞ、お試しください。

YAコーナー 「夜空を眺めて」

月がいちばん美しく見えるこの季節。

星や月に思いを馳せてみませんか。

じどう

児童コーナー 「おじいちゃんおばあちゃん

いつもありがとう」

おじいちゃんやおばあちゃん いつまでもげんきでいてね♪



【館長だより ～めじろの森から～】

8月のイベントでは、児童作家でおもちゃ研究家の木村研先生を講師に、「絵本づくりワークショップ」を開催しました。制作を行った2日間では、豆絵本から仕掛け絵本まで、とても簡単にできるたくさんの種類の絵本を、保護者の方とお子さんが一緒になって楽しみながら作っていきました。木村先生は小さなお子さんでも取り組めるようなものを中心に指導されていましたが、これが意外と大人も熱中してしまうことに。年代に関係なく楽しめるのが、絵本づくりのようです。

最後に、B5 サイズで数ページ程度の絵本づくりを行いました。完成した作品の背を製本テープで止め、表紙に透明なビニールカバー（ブッカー）を貼ると、宝物として残しておきたいような“すてきな絵本”が完成。子どもたちが一生懸命にお話を作り、絵を描いた作品は、楽しいものばかりでした。こどもの感性の自由さは、本当にすばらしいと思います。